

日々のよろこび 2021

目黒区美術館 コレクション展



秋岡芳夫《蟻の巣みつけたよ》1954年

2021[令和3]年

11月13日(土)～12月19日(日) 本館2階

10:00-18:00 [入館は17:30まで] / 月曜休館

主催：公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

観覧料：一般700円(550円) / 大高生・65歳以上550円(400円) / 中学生以下無料

◎障がいのある方とその付添者1名は無料、()内は20名以上の団体料金

◎目黒区在住・在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示頂くと団体料金になります(他の割引との併用はできません)

◎新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、展覧会の会期等が変更になる可能性があります。

ご来館時の注意事項等も含め、開館状況を当館ホームページ等でご確認のうえご来館ください。

同時開催 | 日々のよろこび2021 障がいのあるアーティストによる作品展
会期：2021年11月30日(火)～12月19日(日) / 会場：本館1階◎入場無料

 目黒区美術館

2020年1月頃より拡大した新型コロナウイルスの感染により、私たちは幾度かの緊急事態宣言による自粛生活を経験しました。外出や移動の自粛、マスクの着用など、私たちの生活の自由は様々に制限を受けました。

しかし、息苦しい生活の中にあっても、私たちの日々の暮らしの中にはちょっとしたよろこびがあります。

本展が開会した後、11月30日からは「障がいのあるアーティストによる作品展 日々のよろこび2021」展を同時開催いたします。この同時開催展に関連し、本展では、当館のコレクションの中から、ほのかな心地よさや温もり、幸せなどを感じさせるような作品を取り上げ、私たちが何気ない日常の中で感じる「よろこび」に着目します。

苦しい状況の中にあっても、むしろそのような状況下でこそ、

芸術は私たちの心に潤いを与えてくれることがあります。本展をとおり、美術館に足を運び作品を観ること自体が、私たちの暮らしの中の「日々のよろこび」となれば幸いです。

●展覧会の構成

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 カラフル | 4 笑いとユーモア、そして遊び |
| 2 心地よさ:柔らかな形、軽やかな線 | 5 カワイイ |
| 3 光の中で | 6 僕らはみんな生きている |

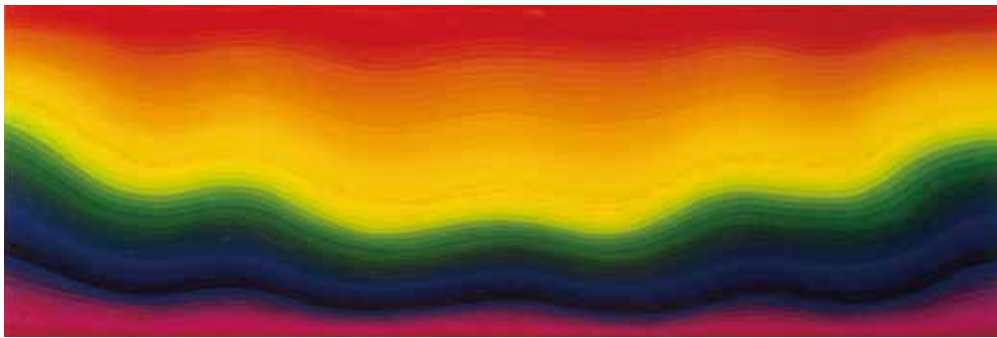
関連催事

「トイで遊ぶ休日の昼下がり」

日時:会期中の土日及び祝日の13:00~16:00

会場:2階展示ロビー プレイコーナー

内容:色や形が美しいだけでなく、積んで、組んで、並べて楽しい、当館収集のトイ(構成玩具)に実際に触れて頂けます。当館のトイコレクションボランティアチームがサポートします。



穀嘯《虹のエンパイラメント》1962年



土屋幸夫《箱根'71》1971年



斎藤豊作《羊飼い》1906-12年



草間彌生《南瓜(黄)》1982年



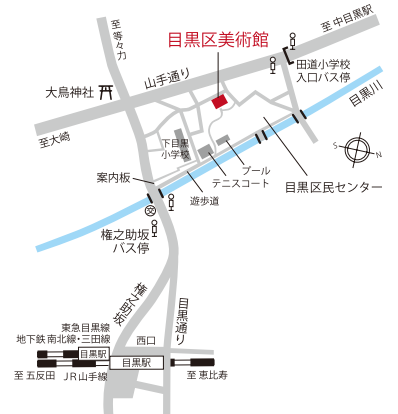
池田満寿夫《日光浴する貴婦人たち》1962年



田中敦子《ターゲット》1962年

© Kanayama Akira and Tanaka Atsuko Association

※作品はすべて目黒区美術館蔵



- ▶ JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線「目黒」駅(西口)から徒歩10分
- ▶ 東急東横線・東京メトロ日比谷線「中目黒」駅から徒歩20分
- ▶ 東急バス「権之助坂」(目黒通り)下車徒歩5分、「田道小学校入口」(山手通り)下車徒歩3分
- ※目黒区民センター隣接
- ※当館には来館者専用の駐車場はありませんので、電車・バスなど公共交通機関をご利用ください。
- ※お車でお越しの場合は隣接の目黒区民センターの駐車場(有料)をご利用ください。

目黒区美術館

〒153-0063 東京都目黒区目黒 2-4-36
TEL. 03-3714-1201 / <https://www.mmat.jp>

▼メルマガ会員募集中

<https://service.sugumail.com/mmat/>